

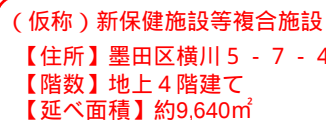
保健センター等が
移転します！！



健康づくりに向けた課題の多様化、感染症の拡大に伴う健康危機管理の重要性の高まり、向島・本所の両保健センターの老朽化等を踏まえ、「つなぐ・つながる」をコンセプトとする、保健所、子育て支援総合センター、教育センターの機能を併せ持つ、総合的な保健施設を整備します。



- ・本所保健センター
- ・向島保健センター
- ・子育て支援総合センター
- ・保健計画課、生活衛生課、保健予防課（墨田区役所内）
- ・学務課（特別支援等就学相談）（墨田区役所内）
- ・教育相談室（生涯学習センター内）
- ・研修室（横川小学校内）
- ・すみだスクールサポートセンター（サポート学級）
- ・ステップ学級



次の3つの要素で構成されています。

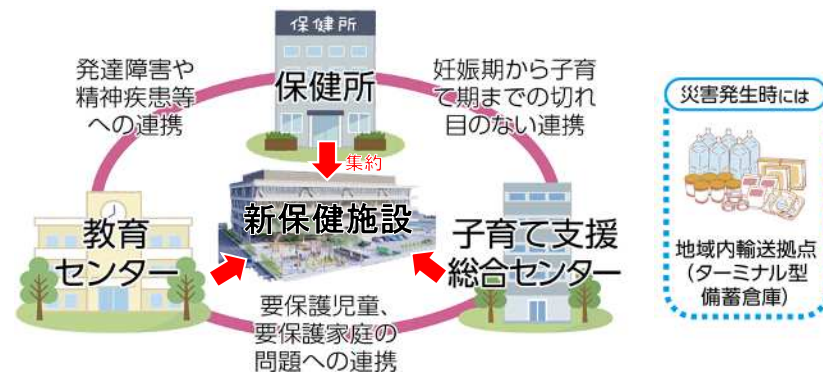
- ・各専門窓口 に速やかに案内する「総合窓口」の設置
- ・乳幼児健診や窓口に来た利用者が、気軽に交流しながら集える環境づくり
- ・区民誰もが楽しみながら健康への気づきにつながる「情報展示コーナー」や憩いの場としての「区民ラウンジ」の設置

- ・各専門部署との迅速な連携
- ・多問題等の相談の際に、複数の部署が連携できる「共用相談室」「カンファレンスルーム」の設置
- ・データヘルスの拠点として様々な健康情報の集約化と活用

- ・誰でも利用しやすいユニバーサルデザインの採用
- ・プライバシーを確保する設計
- ・災害時の拠点として、様々な災害や新たな感染症にも柔軟に対応

「保健所」の機能を核として、「子育て」「教育」の機能を1か所にまとめることで連携を深め、多分野に渡る課題に対して迅速に、区民一人ひとりに寄り添ったサービスを展開していきます。

また火災発生時には、支援物資の輸送拠点としての機能も担います。



保健センター等複数の関係機関の機能を集約するメリットを活かし、妊娠・出産から子育て、学齢期に至るまで切れ目ない支援の充実を図るため、「墨田区版ネウボラ（ ）」として組織の枠を超えた取組を進めていきます。

- ▼部門間の情報連携の強化
 - ▼妊娠期～学齢期に係る各専門職による多角的な支援
 - ▼複数の機能が集約されるメリットを活かした事務運営
- などにより、区民サービスの向上を目指します。



「墨田区版ネウボラ」イメージ

() フィンランド発祥の「ネウボラ」とは「アドバイスの場」を意味し、出産・育児に関する相談をワンストップで対応することにより、切れ目のない支援を行う拠点として知られています。